

示しになつて居るのであります。唯だ國民道德といつて國家觀念ばかりのことではな
い、社會構成、社會相互の道德が明かに示されて居る次第である。

それから人道的道德はどうであるかといふと、是も私は頗る鮮かなことであると思
ふ。「博愛衆に及ぼす」といふは、唯だ社會に於けるのみでなく、人類全體に對しての
徳目であり、又「公益を廣め世務を開く」のは、文明の惠澤を共にする所以で、文化
の進歩に依つて相互の利益を進むるのであります。初めに申した「徳を樹つる深厚」
といふ中に天下光宅の理想があり、又「國を肇むる宏遠」といふ中に最後人類の幸福
を保障する所の理想を有つて居るのであります。それ故に人道的の道德としては、
「國を肇むること宏遠」、「徳を樹つること深厚」、「博愛衆に及ぼし」、「公益を廣め」
「世務を開き」といふ所の、この聖旨を擴充して参りましたならば、人道的の道德も
鮮かに示しになつて居るのである。

又人道的道德としては是れ亦頗る鮮明でありまして、「恭儉己れを持し」、「博愛衆に
及ぼし」、「學を修め」、「業を習ひ」といふやうに仰せられて居る、この學を修めるといふ
事も、唯だ今日のやうな機械的學問を指されたのではありませぬまい、斯の「修學」と
いふは「修養」を指してあるので、又「智能を啓發し」、「徳器を成就」といふこと
も、人格を造る所以でありまして、是等の文意に依つて人格修養の方針は明かになつ
て居るのであります。國民を造つて人を造らぬといふやうな事は何處を押したら出て
來るのか、實に可笑しげな事を言つたものであります。

但し茲に於て大事な問題が残つて居るのは、宇宙的の方面と、いま一つは人格の基
本といふ根本問題であります。この宇宙的の方面と人格の基本は、唯今私の解釋した
所にもありますけれども、それは「國を肇むる宏遠」といふも言葉である、所がこれ
を教育家が解釋すると、「日本は建國以來何千何百年經つて居るから世界の何れの國よ
りも舊い國ぢや」と斯う唯だ言つてしまひます、舊いといふだけでは宇宙的の道德は
出て参りませぬ。徳を樹つる深厚といふことも、「深はふかい、厚はあつ、いといふ字で